

2013年度 第1回乳・幼児造形研究部会のご案内

テーマ「乳・幼児の今を大切にする造形活動を考える ～保育者と養成校が共有する視点～」

今年度の部会は、関西学院大学教育学部で行います。この部会の特徴は、研究者と保育者が協働して、乳・幼児の造形を考えることにあります。是非とも多くの方々の参加をお待ちしています。

乳・幼児造形研究部会 代表 清原 知二

■日時：10月26日（土）13:00-16:30(予定)

■場所：関西学院大学聖和キャンパス3号館 美術室他

（聖和キャンパス交通アクセスは阪急今津線モンド厄神駅下車徒歩15分

または、阪急西宮北口下車、北出口よりエスカレータを降りてタクシー乗り場より「聖和キャンパス」まで、1060円前後。アクセス：http://www.kwansei.ac.jp/pr/pr_002517.html）

キャンパス内：http://www.kwansei.ac.jp/s_education/s_education_202851.html）

（※当時日、短期大学の入試がありますが、入校可能です。また、学内に駐車場はありませんので交通機関をご利用ください。）

■内容：養成校における学生の造形経験調査から討議を行った島根大会での部会を受けて、今回は、保育現場で子どもを育む造形活動における軸を考えるために、実践研究発表と、研究発表、討議を行います。大切にすべき視点や活動内容についてパネラーと、保育者や研究者の参加者で話し合い、保育現場と養成校で共通に持つべき乳・幼児造形における軸について共通理解を図ることで、子どもたちの日々の造形活動と、養成校の授業に必要な内容やカリキュラムについて反映していけるよう、共に考えたいと思います。

■進行：

1. 挨拶：清原 知二

2. 実践発表：「子どもの視点と表現をみつめる」住の江幼稚園 主任 久保葉子 教諭・森山美樹 教諭

3. 研究発表：「美術教育と生涯教育の視点から乳・幼児造形教育を捉える」

和歌山大学 丁子かおる

4. 研究発表：「感覚からみる幼児の造形的発達」

関西学院大学 清原知二

5. 討議：パネラーを中心に、全体討議をおこないます。

司会：清原知二 パネラー：塩見知利, 中田 稔, 平野真紀, 久保葉子, 丁子かおる（予定）

6. その他：連絡など

（※養成大学関係者においては、プログラムの情報交換をしていきたいと考えています。シラバスや予定表をお持ちいただければ、この部会の今後の検討の材料となります。よろしくおねがいします。）

■参加費無料

■連絡先：清原知二（wasi@kwansei.ac.jp, Tel&Fax: 0798-52-4398）

当日の受け付けもありますが、資料の準備のため、ご参加いただける場合は、事前に事務局までお申込みください。

事務局：和歌山大学 丁子かおる（kchoji@center.wakayama-u.ac.jp, Tel&Fax: 073-457-7509）